Clarion

取扱説明書

DTX760

地上デジタル／アナログ
ハイブリッドTVチューナー

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

このたびはお買い求めいただき ありがとうございます

ご使用の前に本書をよくお読みいただき、安全で快適なカーライフにお役だてください。

・本書は、クラリオンおよび市販車載用TVなどとの接続**（スタンドアローンモード）**でリモコンを使用した操作方法を中心に説明しています。
また、一部クラリオンAV-Naviシステムと専用ケーブルで接続**（スレーブモード）**での操作方法についても説明しています。
・仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

●取扱説明書：本書
・地上デジタル放送および地上アナログ放送の操作と設定の詳細をご理解いただくため、項目別に説明しています。

●本機取付説明書
・お買い求め後、本機を車に取り付ける方がお読みください。
※本機に接続される機器（ユニット）ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

日本国内専用
この製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本書の構成

ご使用の前に

本機をご使用の前に、理解していただきたい事柄や本機の基本操作などについて説明しています。
本機をはじめてお使いになる方は必ずお読みください。

テレビを観る

地上デジタル放送／アナログ放送を観るための操作方法や、地上デジタル放送の独自機能の操作方法などについて説明しています。
地上デジタル放送／アナログ放送の操作について知りたい方はここをお読みください。

地上デジタル放送／アナログ放送の設定をする

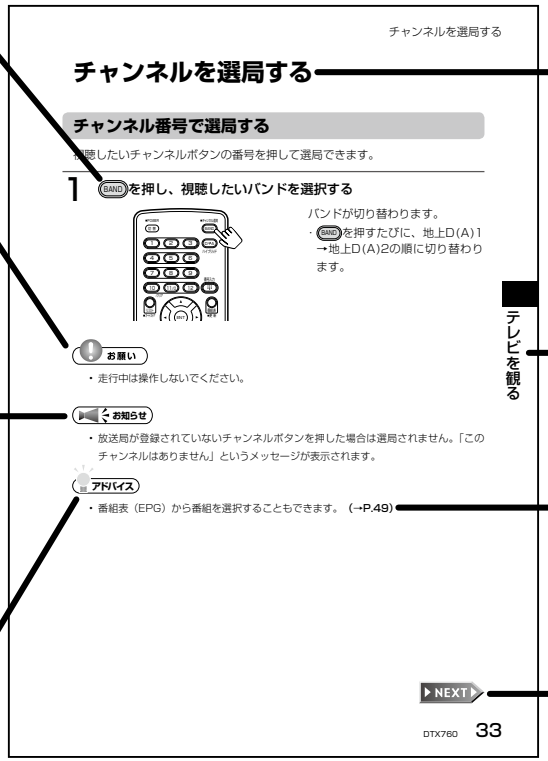
地上デジタル放送や地上アナログ放送のいろいろな設定内容や設定方法について説明しています。
設定の内容や操作について知りたい方はここをお読みください。

付録

放送局エリア一覧／メッセージ一覧／アイコン一覧やトラブルシューティング、索引などについて記述しています。
必要に応じてお読みください。

本書の見方

本書は、以下のサンプルページのスタイルを基本に作られています。
本書をお読みになる前に、よく理解しておいてください。
なお、本書は「クラリオンおよび市販車載用TVなどとの接続（スタンドアローンモード）」でリモコンを使用した操作方法を中心に説明しています。
「クラリオンAV-Naviシステムと専用ケーブルで接続（スレーブモード）」でご使用の場合は、一部の画面表示内容や操作が異なる場合がありますので、タッチパネルを使った詳しい操作方法や画面表示内容については、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。
スタンドアローンモード、スレーブモードについては、P.16をご覧ください。



アイコン
リモコンのボタンを表します。

お願い
お車や本体のために必ず守っていただきたいことです。

お知らせ
操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことです。

アドバイス
操作をする上で、本機を使いこなすためのアドバイスです。

タイトル
タイトルを表します。主に各操作方法で構成されています。

インデックス
章の内容を示すインデックスです。

参照ページ
参照先のページ番号を示しています。

NEXT
操作手順や説明が次ページに続くことを表します。

特長

地上デジタル放送に対応！

今お使いのカーナビに接続して地上デジタル放送を見ることができます（12セグメント放送に対応）。地上デジタル放送の受信可能エリア内であれば、アナログ放送のようなゴーストなどを気にすることなく、繊細で美しい映像を楽しめます。
また、ワンタッチ操作で地上デジタル放送とアナログ放送を切り替えることもできます。

ハイブリッド機能

地上デジタル放送受信時に電波が弱くなった場合、デジタル放送からアナログ放送へ自動的に切り替える、クラリオン独自技術の「ハイブリッド機能」を搭載。移動しながら受信する車載テレビ特有の使用環境のもとで、広範囲なエリアでの電波受信を実現しました。

番組ガイド（番組表）機能

地上デジタル放送は映像がきれいなだけでなく、EPG（電子番組ガイド）によって画面上で番組表をいつでも簡単に見ることもできます。また、EPGの画面から観たい番組のチャンネルを選局することもできます。

お知らせメッセージ

放送局から送られてくる「放送メール」を表示することができます。

地上デジタル放送とは

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。地上デジタル放送は、関東･中京･関西の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、そのほかの地域でも2006年末までに放送が開始される予定です。

地上デジタル放送の特長

- ハイビジョンの高画質とCDレベルの高音質
  本機の映像信号は、標準テレビ信号（SD）で出力します。
  本機の音声信号は、2ヶ国語とステレオに対応しております。
- 標準画質による多チャンネル
  本機はマルチチャンネル放送に対応しております。（一部制約があります）
- EPG（Electronic Program Guide：電子番組表）による放送内容の確認
- ゴーストやノイズのない画像が視聴可能
  受信状況により、静止画像やブロックノイズ画像になることがあります。

マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1つの放送局が図のように周波数帯域を2〜 5に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

	A 放送局		
	○○○ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 （デジタルハイビジョン放送）		
7 時	プロ野球 （標準テレビ放送）	ドラマ （標準テレビ放送）	ニュース （標準テレビ放送）
8 時	映画 （デジタルハイビジョン放送）		

上記の例で、6時台は○○○chと△△△chと×××chのすべてを使いプロ野球を放送。7時台は○○○chでプロ野球、△△△chでドラマ、×××chでニュースをそれぞれ放送。8時台は、○○○chと△△△chと×××chのすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。
上記の放送の例では、○○○chを**メインチャンネル**、△△△chと×××chを**サブチャンネル**と呼びます。

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みいただきたい注意事項などを説明しています。

絵表示について

本取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、さまざまな絵表示をしています。その表示と意味は次のとおりです。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。
注意	この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

絵表示の例

絵表示の記号には、それぞれ意味があります。絵表示の意味をご理解いただき、安全に正しくお使いください。

	この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

安全上のご注意

・安全のため、ご使用の前に下記のご注意を含めて本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
・本取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

使用上のご注意

⚠ 警告

運転時の警告

走行中は運転者による操作をしない

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。本機は、安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる

本機は、安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

走行中、運転者は本機の画像を注視しない

前方不注意となり、交通事故の原因となります。

本機の扱い上の警告

本機の分解、改造をしない

本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解、回転部分への注油は、やめてください。
事故や火災、感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する

規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店に相談してください。

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止する

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
必ずお買い求めの販売店に相談してください。

⚠ 注意

本機の取り付け・取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店に依頼する

専門技術と経験が必要です。

本機を車載用として以外は使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

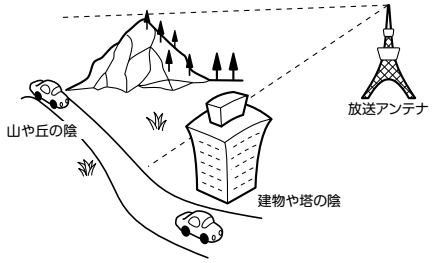
B-CASカード挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

テレビ放送の受信について

●テレビ放送を受信する場合、家庭用のテレビアンテナは最適な向きに固定できますが、車は移動するため、建物や山などの障害物に影響されて、電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
また、VHFをブースターで受信する地域およびUHF放送局や地方局は、放送電波の出力が小さいため、数kmの移動で受信状態が悪くなることがあります。
●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。



●ハイブリッド切り替え使用時、デジタル放送の音声・映像はアナログ放送の音声・映像に比べデータ処理時間による時間差が生じるため、音声・映像は遅延されます。

リモコン用電池について

●指定電池以外は使用しないでください。
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。
●電池をリモコン内に挿入する場合、極性（プラス端子・マイナス端子）に注意し指示通りに入れてください。
間違えると電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。
●電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
●電池は、金属製のボールペン、ネックレス、コインなどと一緒に携帯または保管しないでください。
電池のプラス端子・マイナス端子間がショートし、電池の破裂・液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
●使用済みの電池は定められた場所に廃棄してください。

リモコンについて

●リモコンは、直射日光が当たる場所に長時間放置しないでください。高温によりリモコンが故障する恐れがあります。長時間リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光が当たらない場所に保管してください。

B-CASカードについて

●B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードのIC（集積回路）部は触らないでください。IC部に触れるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないででください。高温によりB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードを磁石の近くやテレビの上など、磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりB-CASカードが故障する恐れがあります。

著作権保護について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

設置について

●デジタルTVアンテナは、専用品以外を使用しないでください。機器が破損するおそれがあります。
●本機は高温になるためファンを設けています。通気の良い場所へ設置してください。

目次

本書の構成 …… 3
本書の見方 …… 4
特長 …… 5
地上デジタル放送とは …… 6
安全にお使いいただくために …… 7
取り扱い上のご注意 …… 10
テレビ放送の受信について…… 10
リモコン用電池について…… 11
リモコンについて…… 11
B-CASカードについて …… 11
著作権保護について…… 12
設置について…… 12
ご使用の前に…… 15
スレーブモードとスタンドアローンモードについて …… 16
ボタンの名称とはたらき …… 18
リモコン…… 18
本体…… 19
はじめてお使いになる場合の設定 …… 21
リモコンを準備する …… 22
リモコンをセットする…… 22
リモコンの電池を交換する…… 22
リモコンの使いかた…… 23
B-CASカードを入れる …… 25
B-CASカードとは …… 25
B-CASカードを台紙からはがす …… 25
B-CASカードを入れる …… 26
B-CASカードを抜く …… 27
ハイブリッド機能について …… 28
ハイブリッド機能をON／OFFする …… 29
テレビを観る…… 31
テレビを観る …… 32
アナログ放送からデジタル放送への移行について… 32
テレビを観るときの基本操作について…… 33
テレビをONにする …… 34
スレーブモードの場合…… 34
スタンドアローンモードの場合…… 35

地上デジタル放送とアナログ放送を切り替える …… 36
バンドを切り替える …… 37
チャンネルを選局する …… 38
チャンネル番号で選局する…… 38
チャンネルリストから選局する…… 39
チャンネル番号を入力して選局する…… 40
チャンネルをサーチして選局する…… 42
番組表(EPG)から選局する（デジタル放送のみ）… 46
チャンネル情報を表示する …… 47
自動表示メッセージについて…… 48
番組の詳細内容を表示する（デジタル放送のみ） …… 49
番組表（EPG）を見る（デジタル放送のみ） …… 51
番組表を更新する…… 52
放送局を登録する …… 53
放送局を自動的に登録する（オートストア）…… 53
放送局をチャンネルボタンに登録する
（プリセットチャンネルメモリー） …… 55
音声を切り替える …… 56
地上デジタル放送／アナログ放送の設定をする…… 57
地上デジタル放送の設定をする …… 58
D端子出力を設定する …… 60
ハイブリッドエリアを設定する…… 61
ハイブリッドマップを編集する…… 62
放送メールを表示する…… 63
B-CASカードのID情報を確認する …… 64
メール情報を初期化する…… 65
バージョン情報を表示する…… 66
アナログ放送の設定をする …… 67
付録…… 69
ハイブリッドマップ一覧 …… 70
アイコン一覧 …… 73
お手入れ …… 75
本体のお手入れ…… 75
TVアンテナのお手入れ …… 75
故障かなと思ったら …… 76
リセットスイッチについて…… 77
エラーメッセージ一覧 …… 78
用語解説 …… 79
保証書とアフターサービス …… 81
索引 …… 83

ご使用の前に

目次

スレーブモードとスタンドアローン
モードについて ……16
ボタンの名称とはたらき ……18
はじめてお使いになる場合の設定 ……21
リモコンを準備する ……22
B-CASカードを入れる ……25
ハイブリッド機能について ……28

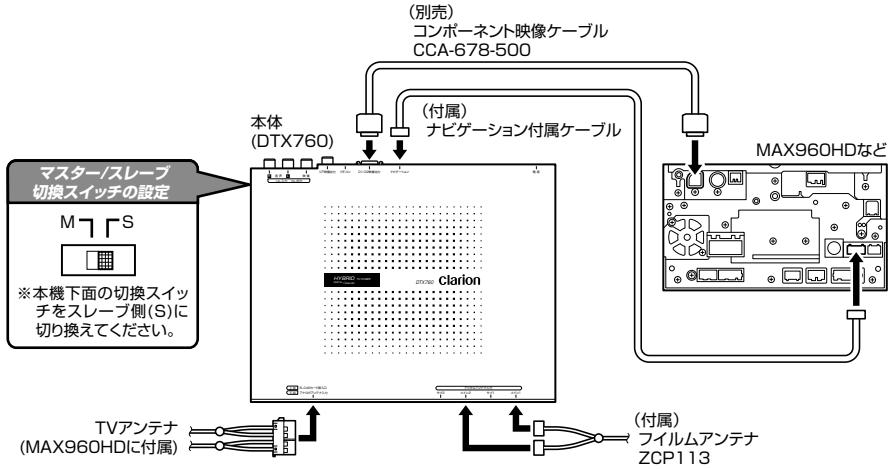
スレーブモードとスタンドアローンモードについて

本機は、本機のコントロール機能を持ったクラリオンAV-Naviシステムに接続して使用するスレーブモードと、クラリオンおよび市販車載用TVに接続して使用するスタンドアローンモードの2種類のモードに対応しています。
スレーブモードで使用する場合は、本機のリモコン操作以外に、接続先機器のタッチパネルでの操作が可能になります。

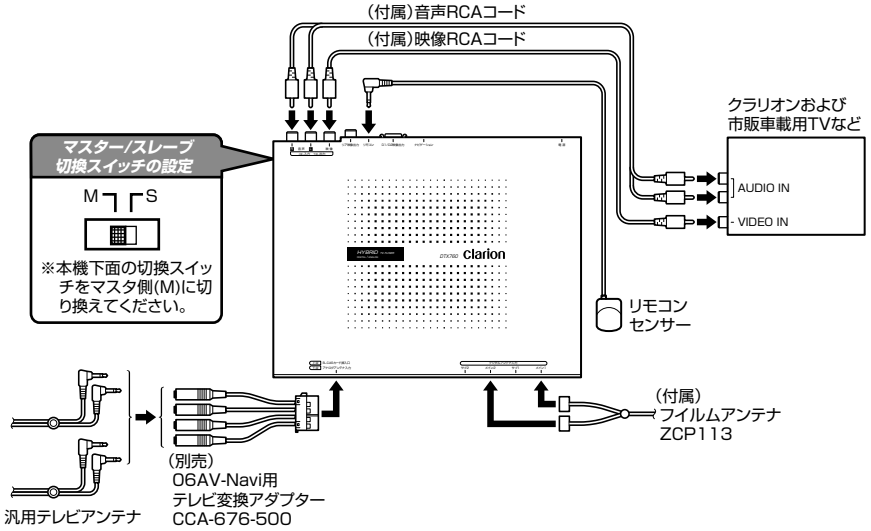
お知らせ

- 本書はスタンドアローンモードでリモコンを使用した操作方法について説明しています。
- スレーブモードでご使用の場合は、一部の画面表示内容や操作が異なる場合がありますので、タッチパネルを使った詳しい操作方法や画面表示内容については、クラリオンAV-Naviシステムの取扱説明書をご覧ください。
  2006年モデル：MAX960HD/MAX860HD、MAX760HD※
  ※MAX760HDはバージョンアップする必要があります。詳しくは、お買い求めの販売店、またはお客様相談室へお問い合わせください。
- スレーブモードとスタンドアローンモードの切り替えは、本機のモードスイッチ**(→P.20)**で行います。モードスイッチの切り替えについては、本機に添付されている取付説明書をご覧ください。
  モードスイッチを切り替えたときは、本機のリセットスイッチ**(→P.77)**を押して再起動してください。

■スレーブモード（クラリオンAV-Naviシステムとの接続）



■スタンドアローンモード（クラリオンおよび市販車載用TVとの接続）

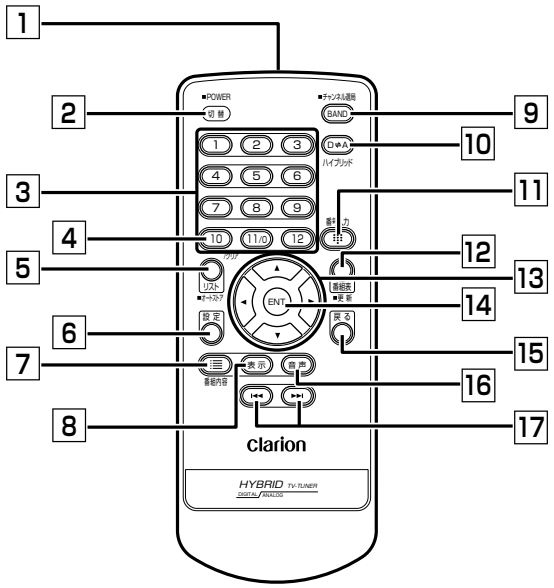


お知らせ

- 本機をビデオカセットレコーダーを通して接続しないでください。
  ビデオ信号がビデオカセットレコーダーを通ると、コピープロテクションの影響を受けTVの画像が歪むおそれがあります。

ボタンの名称とはたらき

リモコン



1 **リモコン送信部**
リモコンの信号を送信する場所です。

2 **切替ボタン**
本機をON/OFF※するとき（→P.35）や、地上デジタル放送、アナログ放送、VTRを切り替えるときに押します。（→P.36）
※スタンドアローンモード接続時のみ

3 **チャンネルボタン**
チャンネルを選局するとき（→P.38）や、2桁／3桁のチャンネル番号を入力するときに押します。（→P.40）

4 **10ボタン**
入力した2桁／3桁のチャンネル番号をクリアするときに押します。（→P.40）

5 **リストボタン**
チャンネルリストを表示するときに押します。表示したチャンネルリストから選局できます。（→P.39）また、押し続けると受信可能な放送局を本機に自動で登録させることもできます。（→P.53）

6 **設定ボタン**
地上デジタル放送やアナログ放送のいろいろな設定を行うときに押します。（→P.58、P.67）スタンドアローンモードのときに押し続けると、D端子の出力をD2→D1に切り替えます。

7 **番組内容ボタン（デジタル放送のみ）**
受信している番組の詳細内容を表示させるときに押します。（→P.49）

8 **表示ボタン**
受信している番組の放送局名※や番組タイトル名※などのチャンネル情報を表示させるときに押します。（→P.47）
（※デジタル放送のみ）

9 **BANDボタン**
地上デジタル放送やアナログ放送のバンドを切り替えるときに押します。

10 **D⇄Aボタン**
ハイブリッド機能（デジタル⇔アナログ自動切換機能）をON/OFFするときに押します。（→P.29）

11 **テンキーボタン**
2桁／3桁のチャンネル番号を入力するときに押します。2桁／3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。（→P.40）

12 **番組表ボタン（デジタル放送のみ）**
EPG（電子番組ガイド）を表示するときに押します。表示した番組表から選局できます。（→P.51）

13 **◄ ► ▼ ▲ボタン**
画面に表示されている項目を選択するときに押します。

14 **ENTボタン**
画面に表示されている項目を確定するときに押します。

15 **戻るボタン**
一つ前の画面に戻るときに押します。

16 **音声ボタン**
2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、主音声や副音声に切り替えるときに押します。（→P.56）

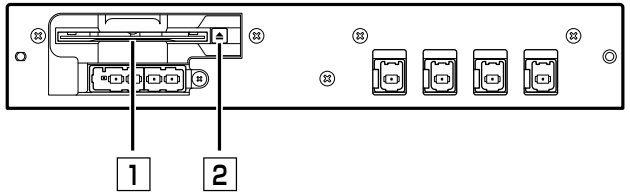
17 **⏮、⏭ボタン**
受信可能なチャンネルを自動／手動でサーチするときに押します。（→P.42）

お知らせ

- リモコンは本機専用のリモコンです。付属のリモコンで接続先機器の操作をすることはできません。
- スレーブモード接続時は、リモコンの操作方法が異なります。本機に接続される機器（ユニット）ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

本体

本体前面

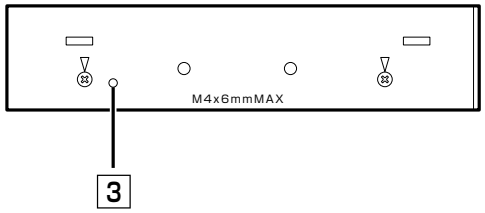


1 **B-CASカード挿入口**
B-CASカードを挿入する場所です。（→P.26）

2 **イジェクトボタン**
挿入されているB-CASカードを取り出すときに押します。（→P.27）

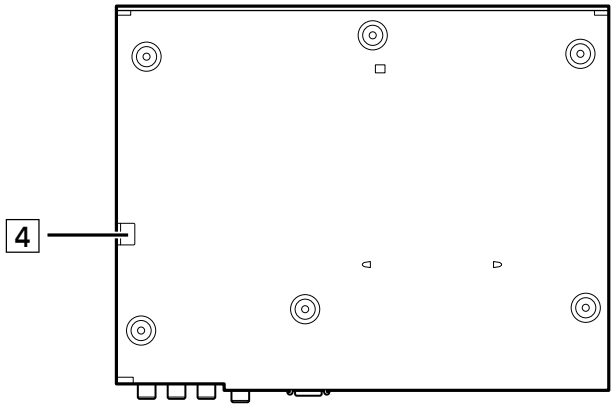
NEXT

本体側面



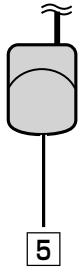
3 **リセットスイッチ**
本機を再起動する際に使用します。**(→P.77)**

本体底面



4 **モードスイッチ**
本機と接続する機器に合わせてモード（スタンドアローンモード／スレーブモード）を設定します。**(→P.16)** 詳しくは、本機に添付されている「取付説明書」をご覧ください。

リモコン受光部



5 **リモコン受光部**
リモコンからの信号を受光する場所です。
（スタンドアローンモード接続時のみ）

はじめてお使いになる場合の設定

本機をはじめてお使いになる場合の設定の流れは、以下のようになっています。

1. リモコンを準備する**(→P.22)**
2. B-CASカードを入れる**(→P.26)**
3. 接続先機器の電源をONにする
   ・詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。
4. テレビをONにする**(→P.34)**
5. 放送局を登録する**(→P.53)**
6. ハイブリッドエリアを設定する**(→P.61)**
7. テレビを観る**(→P.32)**

リモコンを準備する

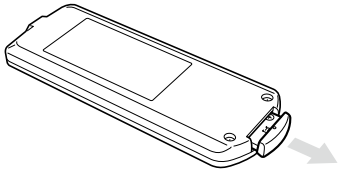
リモコンをセットする

1 電池ホルダー部のフィルムを抜く

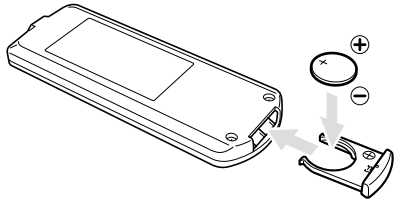
END

リモコンの電池を交換する

1 電池カバーを開け、電池を取り出す



2 新しいリチウム電池（CR2025）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める

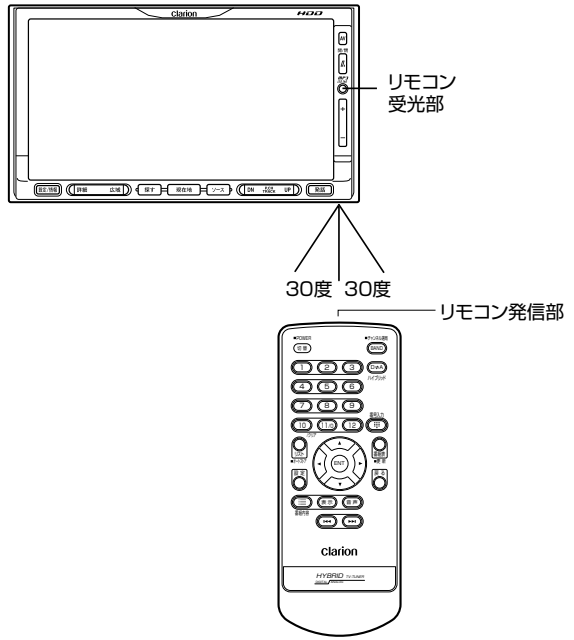


END

リモコンの使いかた

スレーブモードの場合

1 接続先機器の受光部に向けて操作する



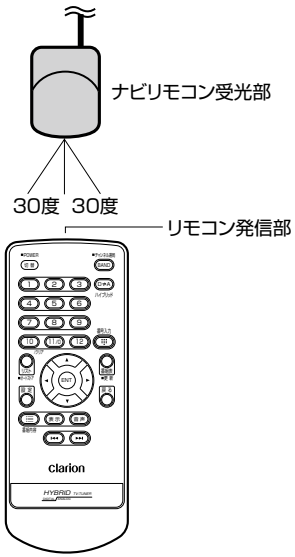
アドバイス

・スレーブモード時は、本機に付属のリモコン受光部を接続しても動作しません。

END

スタンドアローンモードの場合

1 リモコン受光部に向けて操作する



アドバイス

- リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。直射日光を遮断してからリモコン操作を行ってください。

END

B-CASカードを入れる

B-CASカードとは

B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。
地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にB-CASカードを入れてください。

お知らせ

- 付属のB-CASカードは本機専用です。ほかの製品には使用しないでください。

B-CASカードを台紙からはがす

B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。
B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。
なお、B-CASカードの台紙には『ユーザー登録はがき』が付いています。台紙に記述されている内容をご確認の上、ユーザー登録を行ってください。ユーザー登録は無料です。

お知らせ

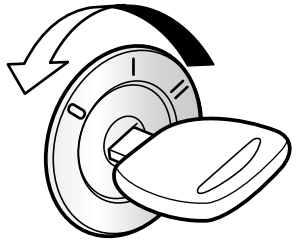
- B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
  株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250（AM10：00～PM8：00）
- 盗難防止のため、車から離れるときはB-CASカードを本機から抜いて持ち歩くようにしてください。

B-CASカードを入れる

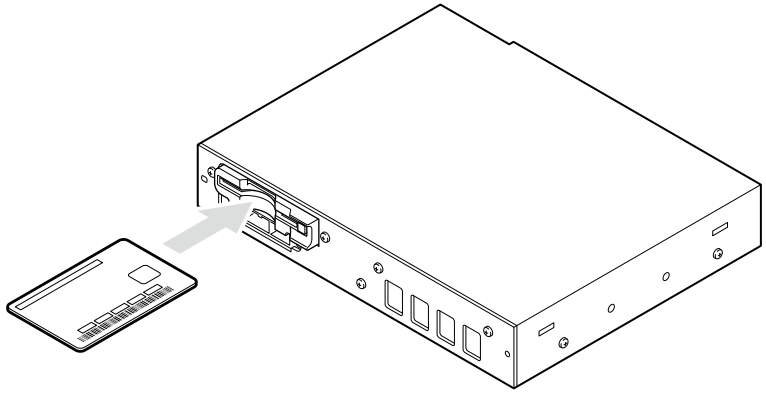
お願い

・B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。

1 エンジンを切る



2 カード番号表示面を上にIC側を奥にして、B-CASカードを挿入する



アドバイス

・B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。

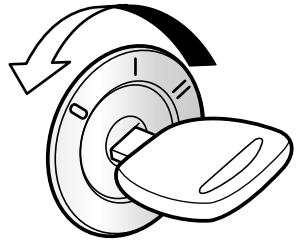
END

B-CASカードを抜く

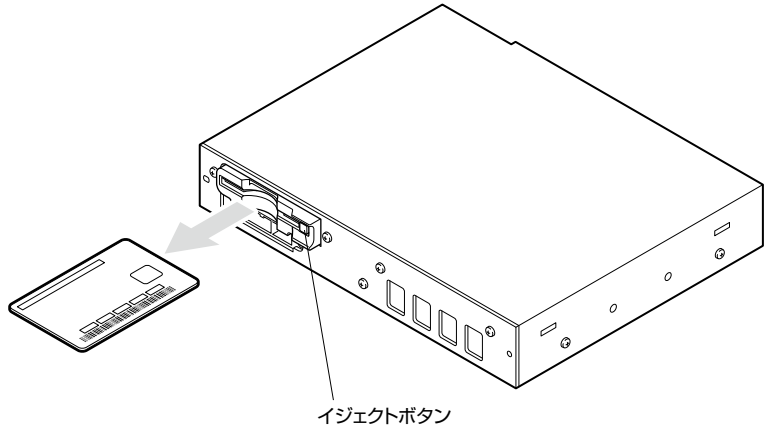
お願い

・B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。

1 エンジンを切る



2 イジェクトボタンを押して、B-CASカードを抜く



お願い

・B-CASカードは高温で変形するおそれがあるので、使用後はカードを抜くかまたは高温にならない場所にセッティングしてください。

END

ハイブリッド機能について

本機は、地上デジタル放送受信時に電波が弱くなった場合、デジタル放送からアナログ放送へ自動的に切り替えるクラリオン独自技術の「ハイブリッド機能」を搭載しています。
ハイブリッド機能ON時に、地上デジタル放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのアナログ放送へ自動的に切り替わり、画面に「地上A放送に切り替えます」というメッセージが表示されます。
ハイブリッド機能を有効にするには、ハイブリッドエリアの設定が必要です。**(→P.61)**

地上デジタル放送

アナログ放送

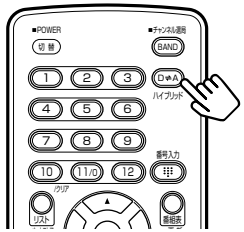
受信電波が弱くなると…

お知らせ

- アナログ放送の受信感度が悪い場合には、ハイブリッド機能は働きません。
- 地上デジタル放送の受信電波が強くなった場合は、地上デジタル放送に切り替わります。
- 放送局によっては、地上デジタル放送とアナログ放送とで番組が異なる場合があります。
- エリアによっては、異なる番組に切り替わる場合があります。その場合はハイブリッド編集**（→P.62）**で希望のチャンネルに変更してください。
- 地上デジタル放送のサブチャンネル**（→P.6）**を視聴中は、ハイブリッド機能は働きません。また、アナログ放送から地上デジタル放送のサブチャンネルへは、自動では切り替わりません。

ハイブリッド機能をON／OFFする

1 **D⇌Aを押す**



ハイブリッドマーク

ハイブリッド機能がOFFになります。

- D⇌Aを押すたびに、ハイブリッド機能がOFF⇔ONの順に切り替わります。

お知らせ

- ハイブリッド機能OFF時に、地上デジタル放送受信時に電波が弱くなった場合は、アナログ放送に切り替わらずに、デジタル放送の映像が静止画で表示されます**（「ノイズコンシールメント機能」（→P.59））**。

END

Memo

テレビを観る

目次

テレビを観る ……32
テレビをONにする……34
地上デジタル放送とアナログ放送を
切り替える ……36
バンドを切り替える ……37
チャンネルを選局する ……38
チャンネル情報を表示する ……47
番組の詳細内容を表示する
（デジタル放送のみ）……49
番組表（EPG）を見る（デジタル放送のみ） …51
放送局を登録する ……53
音声を切り替える ……56

テレビを観る

⚠警告

- **運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、停車時のみテレビの映像を見ることができます。**
- **走行中は、音声だけを聴くことができます。**

お知らせ

- 本機は地上デジタル放送とアナログ放送のハイブリッドです。デジタル放送の受信状態が悪化したときに、自動的にアナログ放送に切り替えることができます。**(→P.28)**
- アナログ放送受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また、画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは当初限定されていますが、順次拡大される予定です。アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。アナログ放送が終了した場合は、本機でのアナログ放送は視聴できなくなり、地上デジタル放送のみの視聴となります。
地上デジタル放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部地域においてUHF放送のチャンネル変更が順次実施されています。
これにともない、以下の現象が起こる可能性があります。

- 今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる
- 今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る

また、リストやチャンネルボタンでの受信局表示にも、以下の現象が起こる可能性があります。

- チャンネルと放送局名が一致しない
- プリセットチャンネルに登録した放送局が受信できない、放送局名が表示されない

これらの現象は、チャンネル変更によって生じた現象です。
機器の故障・不具合ではありません。
このような場合には、もう一度ご希望のチャンネル登録を行ってください。
チャンネルの登録については、**「放送局をチャンネルボタンに登録する」(→P.55)**をご覧ください。

テレビを観るときの基本操作について

テレビを観るときの基本的な操作の流れについて説明します。

1 B-CASカードを入れる**(→P.26)**

2 接続先機器の電源をONにする
・詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

3 テレビをONにする**(→P.34)**

4 テレビを観る
・本機をはじめてお使いになる場合は、放送局の登録**(→P.53)**とハイブリッドエリアの設定**(→P.61)**を行ってください。

・地上デジタル放送とアナログ放送を切り替える**(→P.36)**
・チャンネルを選局する**(→P.38)**

さらに、こんなことができます

・チャンネル情報を表示する**(→P.47)**
・番組の詳細内容を表示する**(→P.49)**
・番組表(EPG)を見る**(→P.51)**
・放送局を登録する**(→P.53)**
・音声を切り替える**(→P.56)**
・地上デジタル放送とアナログ放送の設定をする**(→P.58、P.67)**

テレビをONにする

テレビの電源ON/OFFについて説明します。

スレーブモードの場合

1 クラリオンAV-Naviシステムの電源をONにし、ソースをTVに切り替える

接続先機器のソースが本機に切り替わり、現在選択されている放送局が表示されます。

- 詳しいソースの切り替えかたについては、接続先の機器の取扱説明書をご覧ください。

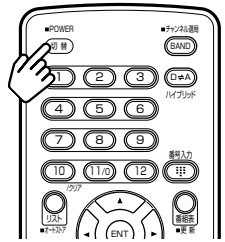
END

スタンドアローンモードの場合

1 クラリオンおよび市販車載用TVの電源をONにし、VTRまたはTV入力（本機の映像を表示できるモード）に切り替える

- 切り替えかたについて詳しくは、クラリオンおよび市販車載用TVの取扱説明書をご覧ください。

2 切替を押す



オープニング画面が表示された後、現在選択されている放送局が表示されます。

アドバイス

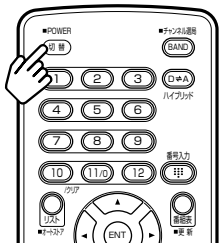
- オープニング画面を表示しないように設定できます。**(→P.59、P.68)**
- 切替を押し続けるとテレビがOFFになります。テレビをONにする場合は、再度切替を押します。

END

地上デジタル放送とアナログ放送を切り替える

視聴する放送(地上デジタル放送／アナログ放送)やVTR機器に切り替えられます。

1 切替を押す



現在選択されているアナログ放送の放送局が表示されます。

- 切替を押すたびに、下記の順に切り替わります。

地上デジタル放送→アナログ放送→VTR

地上デジタル放送

切替

アナログ放送

切替

VTR

お知らせ

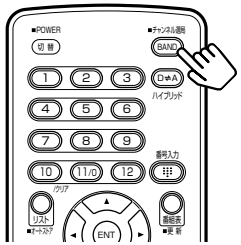
- 本機にVTR機器を接続して映像や音声を楽しむ場合は、「VTR」に切り替えてください。
- D端子出力をD2に設定しているときは、VTR映像はD端子から出力されません。
- 地上デジタル放送のサブチャンネル（→P.6）を視聴しているときにアナログ放送に切り替え、再度地上デジタル放送に切り替えると、視聴しているメインチャンネル（→P.6）に切り替わります。

END

バンドを切り替える

本機には地上デジタル放送とアナログ放送に、それぞれ2つのバンドがあります。
普段ご使用になるバンドをD(A)-1に、外出先をD(A)-2に設定すると便利です。

1 BANDを押して視聴したいバンドを選択する



バンドが選択されます。

- BANDを押すたびに、地上D(A)-1→D(A)-2の順に切り替わります。

チャンネルを選ぶには

- チャンネル番号で選局する…… (→P.38)
- チャンネルリストから選局する…… (→P.39)
- チャンネル番号を入力して選局する…… (→P.40)
- チャンネルをサーチして選局する…… (→P.42)
- 番組表（EPG）から選局する（デジタル放送のみ）…… (→P.46)

チャンネルを登録するには

- 放送局を自動的に登録する（オートストア）…… (→P.53)
- 放送局をチャンネルボタンに登録する（プリセットチャンネルメモリー）… (→P.55)

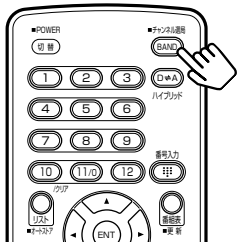
END

チャンネルを選局する

チャンネル番号で選局する

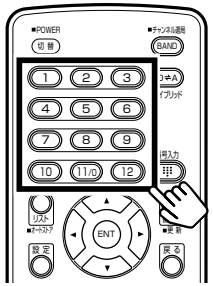
視聴したいチャンネルボタンの番号を押して選局できます。

1 BANDを押し、視聴したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 視聴したいチャンネル番号を押す



選択したチャンネル番号の放送を受信します。

お知らせ

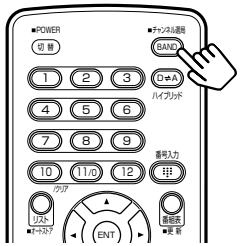
- 放送局が登録されていないチャンネルボタンを押した場合は選局されません。「このチャンネルは、ありません」というメッセージが表示されます。

END

チャンネルリストから選局する

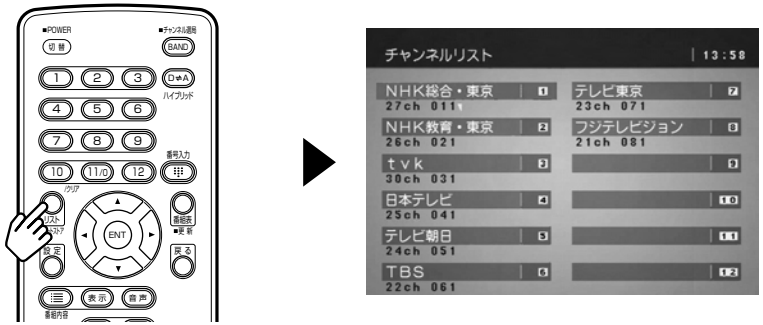
チャンネルリストを表示して、視聴したい放送局を選局できます。

1 BANDを押し、視聴したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 リストを押す



チャンネルリストが表示されます。
放送局名の後ろにチャンネル番号が表示されます。

3 チャンネルボタンか◄ ► ▼ ▲で視聴したい放送局を選択し、ENTを押す

選択した放送局を受信します。

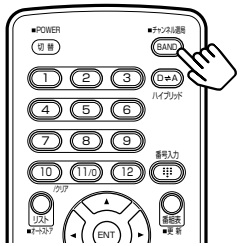
END

チャンネル番号を入力して選局する

視聴したい番組のチャンネル番号をダイレクトに入力して選局できます。

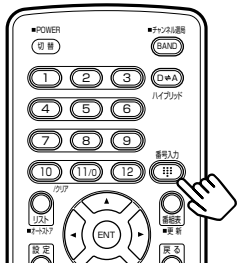
3桁チャンネル番号を入力して選局する（デジタル放送のみ）

1 **(BAND)を押し、視聴したいバンドを選択する**



バンドが切り替わります。

2 **(⁞⁞⁞)を押す**



3桁番号入力が表示されます。

3 **視聴したい3桁チャンネル番号を入力し、(ENT)を押す**

入力した3桁チャンネル番号の放送を受信します。

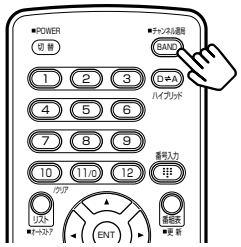
アドバイス

・番号入力を間違えた場合は、(10)を押すと、入力した番号がクリアされます。

END

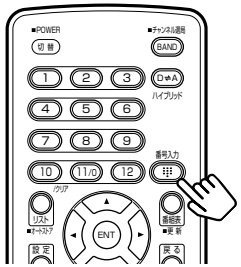
2桁チャンネル番号を入力して選局する（アナログ放送のみ）

1 **(BAND)を押し、視聴したいバンドを選択する**



バンドが切り替わります。

2 **(⁞⁞⁞)を押す**



2桁番号入力が表示されます。

3 **視聴したい2桁チャンネル番号を入力し、(ENT)を押す**

入力した2桁チャンネル番号の放送を受信します。

アドバイス

・番号入力を間違えた場合は、(10)を押すと、入力した番号がクリアされます。

END

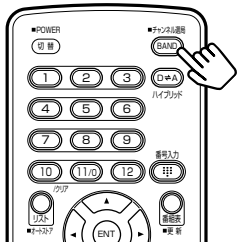
テレビを観る

チャンネルをサーチして選局する

自動でサーチする（プリセットサーチ）

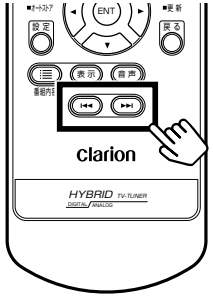
チャンネルリストに登録している放送局で、受信状態が良い放送局を自動的にサーチして選局できます。

1 BANDを押し、視聴したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 ⏭または⏮を押す



受信状態が良い放送を受信すると選局が止まります。

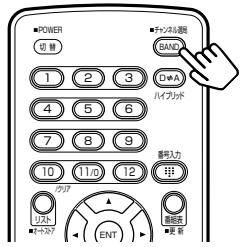
サーチを中止するには、⏭か⏮かチャンネルボタンを押します。

END

自動でサーチする（SEEKサーチ）：デジタル放送のみ

受信状態が良い放送局を自動的にサーチして選局できます。

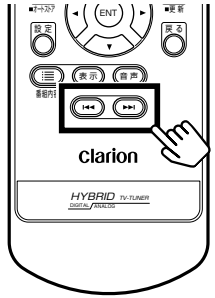
1 BANDを押し、視聴したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 BANDを押し続け、「チャンネル選局」を表示させる

3 ⏭または⏮をサーチが始まるまで押し続ける



受信状態が良い放送を受信すると選局が止まります。

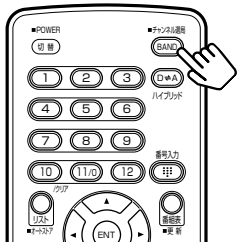
サーチを中止するには、⏭か⏮かチャンネルボタンを押します。

END

自動でサーチする（SEEKサーチ）：アナログ放送のみ

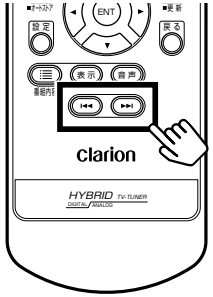
受信状態が良い放送局を自動的にサーチして選局できます。

1 BANDを押し、視聴したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 ⏭または⏮をサーチが始まるまで押し続ける



受信状態が良い放送を受信すると選局が止まります。

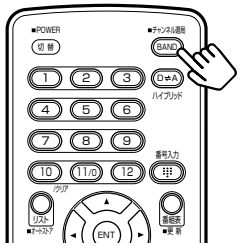
サーチを中止するには、⏭か⏮かチャンネルボタンを押します。

END

手動でサーチする

物理チャンネル（→P.80）をサーチして、順送り／逆送りで放送局を選局できます。

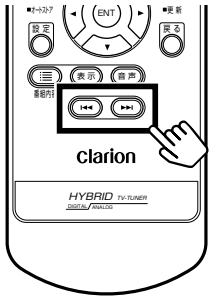
1 BANDを押し、視聴したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 （デジタル放送のみ）BANDを押し続け、「チャンネル選局」を表示させる

3 ⏭または⏮を押す



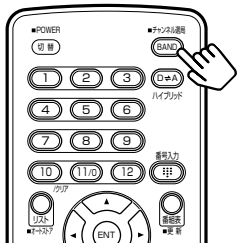
⏭を押すと順送りで、⏮を押すと逆送りで物理チャンネルを選局します。

END

番組表(EPG)から選局する（デジタル放送のみ）

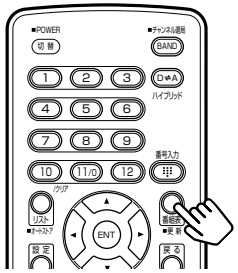
番組表（EPG）を表示して、現在放送中の番組から視聴したい番組を選局できます。

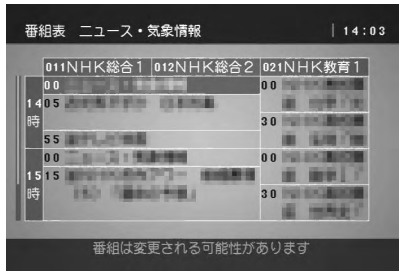
1 (BAND)を押し、視聴したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 (番組表)を押す





番組表が表示されます。

3 (◄)(►)(▼)(▲)で視聴したい番組を選択し、(ENT)を押す

選択した番組のチャンネルを受信します。

お知らせ

- 番組表（EPG）の表示内容については**「番組表（EPG）を見る」（→P.51）**をご覧ください。
- 番組表は現在の時刻から最大6時間分の番組情報が表示されます。
- 本機の電源を入れた直後は、番組表が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- EPG表示領域の関係上、番組名がすべて表示できない場合があります。
- EPG表示領域の関係上、短い時間の番組は表示されない場合があります。

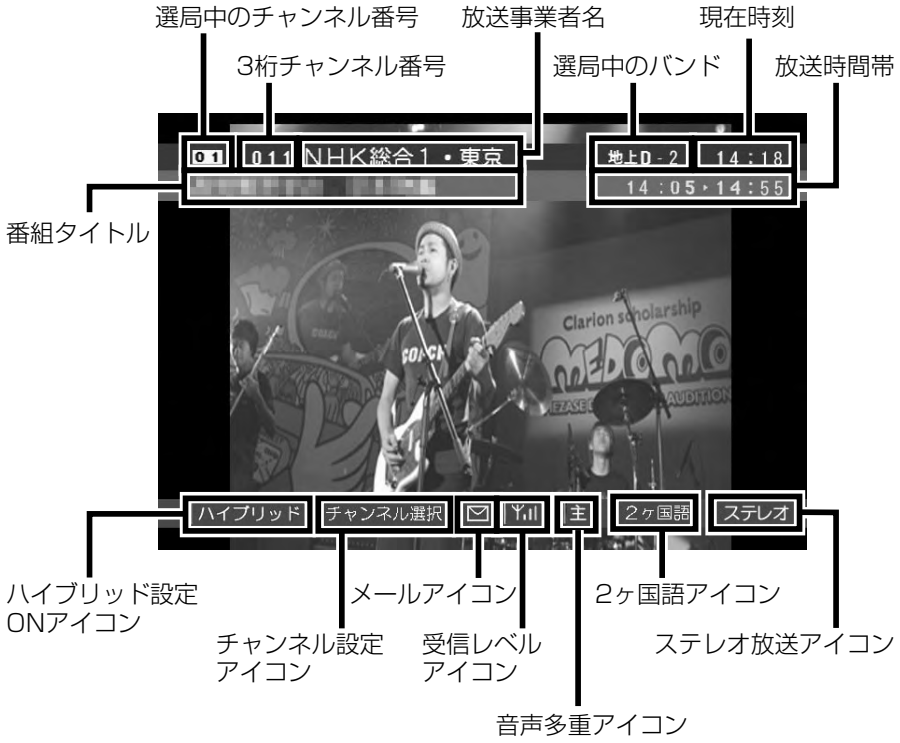
END

チャンネル情報を表示する

視聴しているチャンネルの情報を表示できます。

1 (表示)を押す

チャンネル情報が表示されます。



NEXT

お知らせ

- しばらくすると、チャンネル情報の内容は消えます。
- 放送局から送られてくる未読のお知らせメッセージがある場合は［メールアイコン］が表示されます。お知らせメッセージの表示については**「地上デジタル放送の設定をする」（→P.58）**をご覧ください。
- 画面に表示されるアイコンについては、**「アイコン一覧」（→P.73）**をご覧ください。

END

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容を画面上に表示します。

メッセージ内容が表示されます。

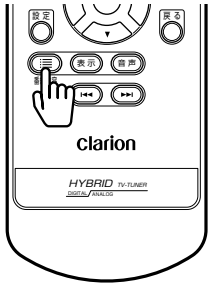
お知らせ

- メッセージは任意に表示させたり消すことはできません。

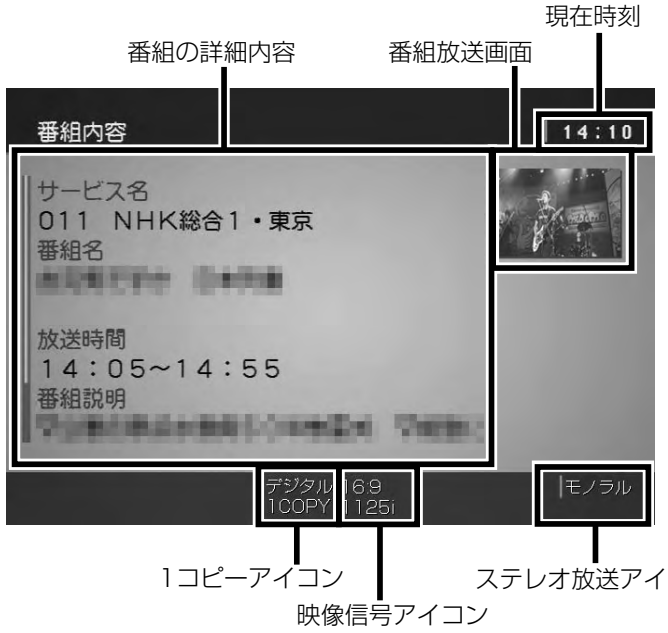
番組の詳細内容を表示する（デジタル放送のみ）

視聴している番組の詳細内容を表示できます。

1 **を押す**



番組の詳細内容が表示されます。



NEXT

アドバイス

- （番組表）または（見る）を押すと、番組放送画面に戻ります。

お知らせ

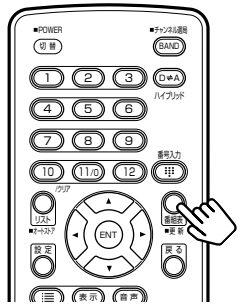
- 番組情報が複数ページあるときは、（▼）（▲）で画面をスクロールして表示します。
- 画面に表示されるアイコンについては、**「アイコン一覧」（→P.73）**をご覧ください。

END

番組表（EPG）を見る（デジタル放送のみ）

地上デジタル放送から配信される番組の情報を画面上に表示し、見たい番組を選局できます。

1 （番組表）を押す



番組表の内容が表示されます。

NEXT

2 ◄ ► ▼ ▲で確認したい番組を選択し、ENTを押す

選択した番組のチャンネルを受信します。

アドバイス

- 番組または戻るを押すと、番組放送画面に戻ります。

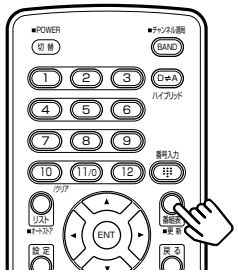
お知らせ

- 番組表は現在の時刻から最大6時間分の番組情報が表示されます。
- 本機の電源を入れた直後は、番組表が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 視聴中の番組以外の番組情報は取得できません。視聴していない番組の番組情報を取得するには、番組表を更新してください。
- 受信状況により、番組情報を取得できない場合があります。

END

番組表を更新する

1 番組表を押し続ける



番組表が更新されます。

アドバイス

- 受信状況により、番組情報を更新できない場合があります。

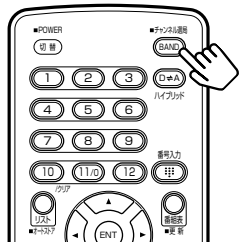
END

放送局を登録する

放送局を自動的に登録する（オートストア）

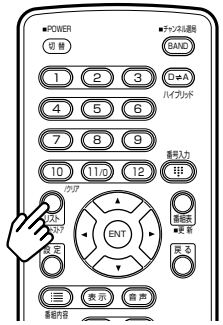
受信可能な放送局を、自動的にバンドごとに12局までチャンネルリストとリモコンのチャンネルボタンに登録させることができます。

1 BANDを押し、登録したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 リストを押し続ける



オートストアが開始され、受信可能な放送局が自動的に登録されていきます。

NEXT

アドバイス

- オートストアはバンドごとに実行し、登録することができます。普段ご使用になるバンドをD(A)-1に、外出先をD(A)-2に設定すると便利です。
- オートストアを中止する場合は、再度[オート]を押し続けます。
- オートストアを中止した場合、そのバンドでスキャンできた放送局のみが登録された状態になります。放送局が検出されなかった場合は、オートストア開始前のチャンネルリストに戻ります。

お知らせ

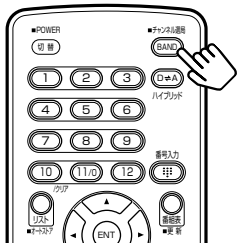
- オートストアを一度実行すると、ストア以前のそのバンドのチャンネルリストの内容は破棄されます。
- リストに追加されても、受信状況によって映像がご覧になれない場合があります。
- 地上デジタル放送のサブチャンネル（→P.6）は登録されません。

END

放送局をチャンネルボタンに登録する（プリセットチャンネルメモリー）

リモコンのチャンネルボタンに手動で放送局を登録させることができます。

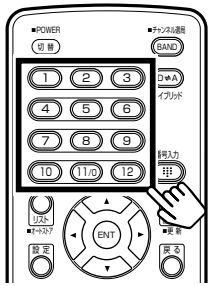
1 BANDを押し、登録したいバンドを選択する



バンドが切り替わります。

2 登録したい放送局を選局する（→P.38）

3 登録させたいチャンネルボタンを押し続ける



受信中の放送局が、選択したチャンネルボタンに登録されます。

お知らせ

- 地上デジタル放送のサブチャンネル（→P.6）は登録できません。

END

テレビを観る

音声を切り替える

音声多重放送受信時に、優先したい音声（主音声／副音声）を切り替えられます。

1 音声を押す

音声が切り替わります。

- 音声を押すたびに、副音声→主音声の順に切り替わります。

現在優先されている音声が表示されます。

お知らせ

- 地上デジタル放送の番組には、2ヶ国語をそれぞれステレオ音声で放送している番組もあります。その際はステレオ音声のままで音声言語が切り替わります。

END

地上デジタル放送／アナログ放送の設定をする

目次

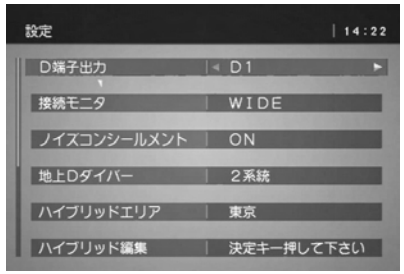
地上デジタル放送の設定をする ……58
アナログ放送の設定をする ……67

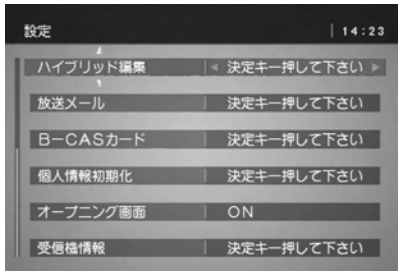
地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送の各種設定ができます。

1 地上デジタル放送受信時に設定を押す

地上デジタル放送の設定画面が表示されます。





2 ▼ ▲で設定したい項目を選択する

3 ◄ ►で選択肢（「ON」または「OFF」など）を選択する

選択した内容が設定されます。

- 設定項目右側の設定欄に「決定キーを押して下さい」とある項目は、ENTを押すことにより表示される画面から設定や表示を行います。設定や表示の詳しい操作方法は表中の参照ページ先をご覧ください。
- 「D端子出力」の設定を変更すると確認画面が表示されます。設定内容に間違えがない場合は はい を、設定をやめる場合は いいえ を押します。
- 戻るまたは戻るを押すと、番組放送画面に戻ります。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
D端子出力	接続するD端子出力の種類を設定します。	D1※/D2	P.60
接続モニタ	接続するモニタの種類を設定します。	NORMAL/WIDE※	−
ノイズコンシールメント	電波の受信状況が悪くなったときに、表示可能な最後の画面を静止画として表示できます。ここでは、静止画表示のON/OFFを設定します。	ON※/OFF	−
地上Dダイバー	TVダイバーアンテナの入力系統を設定します。	2系統※/4系統	−
ハイブリッドエリア	ハイブリッド機能動作時の「デジタル放送局」と「アナログ放送局」の地域を指定して関連づけることができます。本機をお使いの地域を設定します。	東京※	P.61
ハイブリッド編集	ハイブリッド機能動作時の「デジタル放送局」と「アナログ放送局」の関連づけをマニュアル操作で行うことができます。	−	P.62
放送メール	放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。	−	P.63
B-CASカード	B-CASカードのID情報を表示できます。	−	P.64
個人情報初期化	放送局から送られてくるメールを削除できます。	−	P.65
オープニング画面	テレビをONにしたときに表示されるオープニング画面を表示できます。ここでは、オープニング画面表示のON/OFFを設定します。	ON※/OFF	−
受信機情報	本機ソフトウェアのバージョン情報を表示できます。	−	P.66

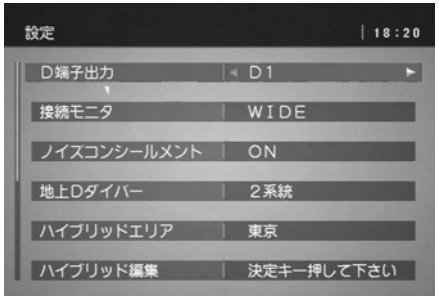
※は工場出荷時の初期設定です。

END

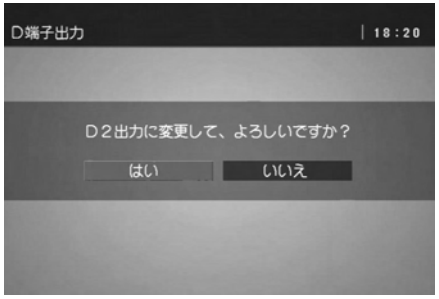
D端子出力を設定する

接続する機器に合わせ、D端子出力の種類を設定します。
D2に設定するとVTRの映像はD端子から出力されません。また、RCA端子からはチャンネル表示などのOSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）は表示されません。

1 ▼ ▲で「D端子出力」を選択し、►を押す



2 ◄ ►で はい を選択し、ENTを押す



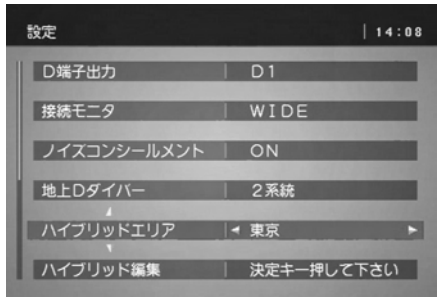
D1出力→D2出力に設定し、 はい を押した後、画面が表示されない場合があります。（モニターがD2設定に対応していない場合）
その場合には、設定を長押しするとD1出力に戻ります。

END

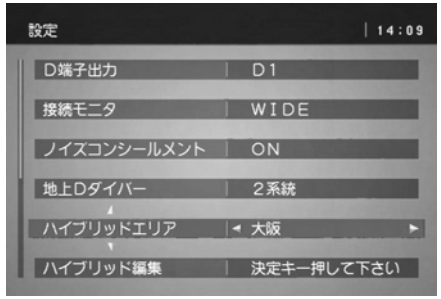
ハイブリッドエリアを設定する

ハイブリッド機能（デジタル放送⇔アナログ放送の自動切り替え機能）を有効にするためには、ハイブリッドエリアの設定が必要です。本機をお使いの地域を設定してください。

1 ▼ ▲で「ハイブリッドエリア」を選択する



2 ◄ ►で地域を選択する



お知らせ

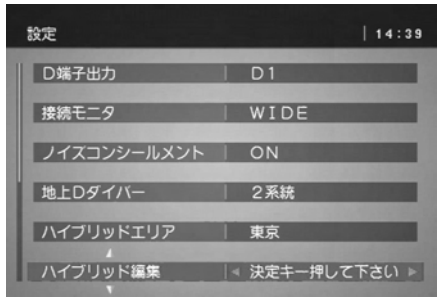
- ハイブリッドエリアを「ユーザー」以外に設定すると、ハイブリッドマップの編集（→P.62）で設定した「ユーザー」の内容は破棄され、上記で選択した地域のハイブリッドマップの内容に変更されます。

END

ハイブリッドマップを編集する

ハイブリッドマップとは、デジタル放送⇔アナログ放送を自動的に切り替えるときのチャンネル対応表です。
ハイブリッド機能（→P.28）動作時の「デジタル放送局」と「アナログ放送局」の関連付けを設定できます。

1 ▼ ▲で「ハイブリッド編集」を選択し、ENTを押す



ハイブリッド編集画面が表示されます。

2 ◄ ► ▼ ▲で同一放送局のデジタルチャンネル番号とアナログチャンネル番号を選択しENTを押す

設定したデジタルチャンネル番号とアナログチャンネル番号が関連付けされ、設定画面に戻ります。

お知らせ

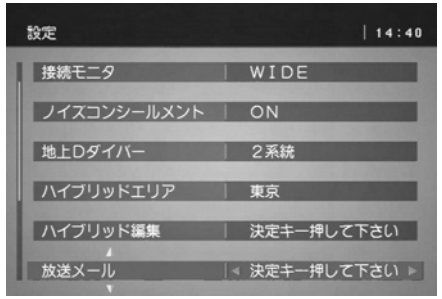
- ハイブリッドマップは最大で20マップまで設定できます。
- 編集したハイブリッドマップは、ハイブリッドエリアの「ユーザー」として保存されます。
- ハイブリッドエリア設定（→P.61）でほかのエリアを選択すると、「ユーザー」の設定は破棄されます。

END

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

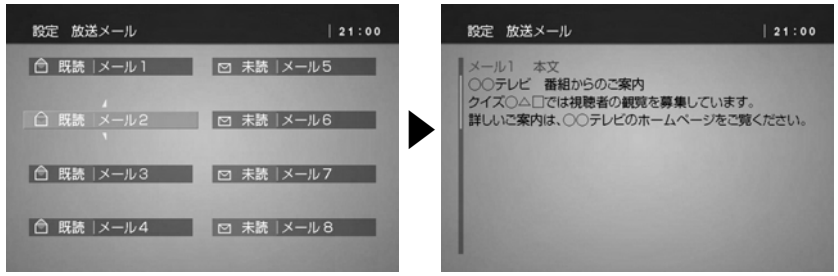
1 ▼ ▲で「放送メール」を選択し、ENTを押す



放送メール一覧画面が表示されます。

- すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

2 ◄ ► ▼ ▲で表示させたいメール番号を選択し、ENTを押す



選択した放送メールの内容が表示されます。

- を押すと、放送メール一覧画面に戻ります。

お知らせ

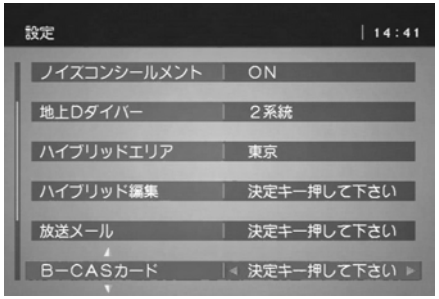
- 放送メールの内容が複数ページあるときは、▼ ▲で画面をスクロールして表示します。
- 受信した放送メールは最大8個まで保存されます。8個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に削除されます。一番古いメールが未読状態であっても削除されますのでご注意願います。
- すべての放送メールを削除することもできます。（→P.65）

END

B-CASカードのID情報を確認する

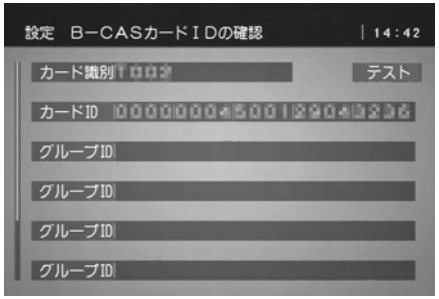
B-CASカードのID情報などを確認できます。

1 ▼ ▲で「B-CASカード」を選択し、ENTを押す



B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

2 ▼ ▲でB-CASカードのID情報などを確認する



- 戻るを押すと、設定画面に戻ります。

アドバイス

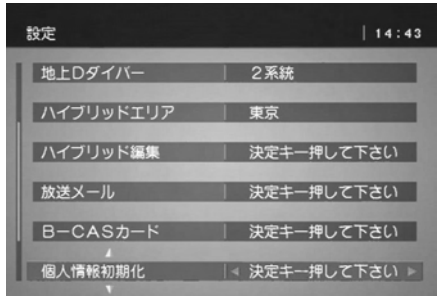
- カードIDが表示されない場合には、もう一度ENTを押してください。
- 「テスト」を選択してENTを押すとB-CASカードの通信テストを行います。通信テストがNGの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。(→P.78)

END

メール情報を初期化する

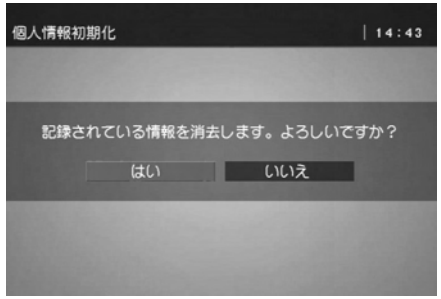
放送局から送られてくる放送メールを削除できます。

1 ▼ ▲で「個人情報初期化」を選択し、ENTを押す



個人情報初期化の確認画面が表示されます。

2 はいを選択し、ENTを押す



すべての放送メールが削除され、設定画面に戻ります。

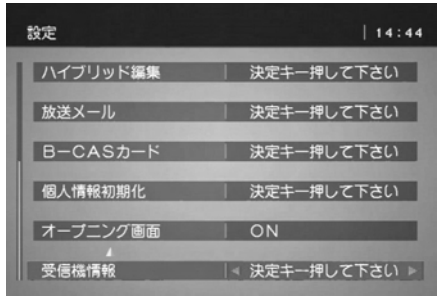
- いいえを選択すると、削除されずに設定画面に戻ります。

END

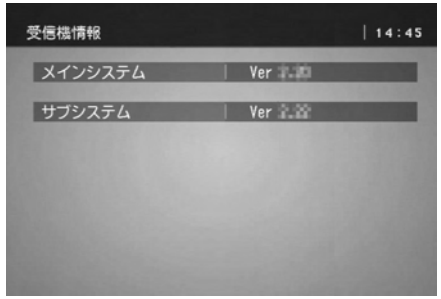
バージョン情報を表示する

本機ソフトウェアのバージョン情報を表示できます。

1 ▼ ▲で「受信機情報」を選択し、ENTを押す



受信機情報画面が表示されます。



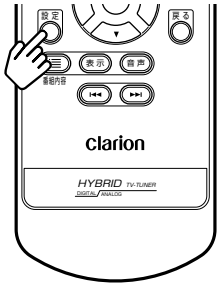
- 戻るを押すと、設定画面に戻ります。

END

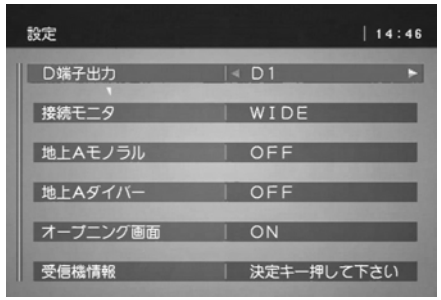
アナログ放送の設定をする

アナログ放送の各種設定ができます。

1 アナログ放送受信時に設定を押す



アナログ放送の設定画面が表示されます。



2 ▼ ▲で設定したい項目を選択する

3 ◄ ►で選択肢（「ON」または「OFF」など）を選択する

選択した内容が設定されます。

- 設定項目右側の設定欄に「決定キーを押して下さい」とある項目は、ENTを押すことにより表示される画面から設定や表示を行います。設定や表示の詳しい操作方法は表中の参照ページ先をご覧ください。
- 「D端子出力」の設定を変更すると確認画面が表示されます。設定内容に間違えがない場合は はい を、設定をやめる場合は いいえ を選択します。
- 設定または戻るを押すと、番組放送画面に戻ります。

NEXT

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
D端子出力	接続するD端子出力の種類を設定します。	D1※/D2	P.60
接続モニタ	接続するモニタの種類を設定します。	NORMAL/WIDE※	−
地上Aモノラル	音声のステレオ／モノラルを設定します。	ON/OFF※	−
地上Aダイバー	TVダイバーアンテナのON/OFFを設定します。	ON※/OFF	−
オープニング画面	テレビをONにしたときに表示されるオープニング画面を表示できます。ここでは、オープニング画面表示のON/OFFを設定します。	ON※/OFF	−
受信機情報	本機ソフトウェアのバージョン情報を表示できます。	−	P.66

※は工場出荷時の初期設定です。

END

付録

目次

ハイブリッドマップ一覧 ……70
アイコン一覧 ……73
お手入れ ……75
故障かなと思ったら ……76
エラーメッセージ一覧 ……78
用語解説 ……79
保証書とアフターサービス ……81
索引 ……83

ハイブリッドマップ一覧

本機には、以下の地域のハイブリッド情報を搭載しています。(2006年4月現在)

地域	エリアコード	放送局	デジタルch	アナログch
宮城	1	東北放送	19	1
		NHK総合	17	3
		NHK教育	13	5
		東日本放送	28	32
		ミヤギテレビ	24	34
		仙台放送	21	12
福島	2	NHK総合	15	9
		NHK教育	14	2
		福島テレビ	25	11
		福島中央	27	33
		福島放送	29	35
		テレビュー福島	26	31
茨城	3	NHK総合	20	44
		NHK教育	13	46
		日本テレビ	14	42
		TBS	15	40
		フジテレビ	19	38
		テレビ朝日	17	36
		テレビ東京	18	32
栃木	4	NHK総合	47	51
		NHK教育	39	49
		日本テレビ	34	53
		TBS	15	55
		フジテレビ	35	57
		テレビ朝日	17	41
		テレビ東京	18	44
		とちぎテレビ	29	31
群馬	5	NHK総合	37	52
		NHK教育	39	50
		日本テレビ	33	54
		TBS	36	56
		フジテレビ	42	58
		テレビ朝日	43	60
		テレビ東京	45	62
群馬	5	群馬テレビ	19	48
千葉	6	NHK総合	27	1
		NHK教育	26	3
		日本テレビ	25	4
		TBS	22	6
		フジテレビ	21	8
		テレビ朝日	24	10
		テレビ東京	23	12
		MXテレビ	20	14
		放送大学	28	16
		千葉テレビ	30	46
		tvk	18	42
		テレビ埼玉	32	38
埼玉	7	NHK総合	27	1
		NHK教育	26	3
		日本テレビ	25	4
		TBS	22	6
		フジテレビ	21	8
		テレビ朝日	24	10
		テレビ東京	23	12
		MXテレビ	20	14
		放送大学	28	16
		テレビ埼玉	32	38
		千葉テレビ	30	46
東京	8	NHK総合	27	1
		NHK総合	26	3
		NHK総合	25	4
		TBS	22	6
		フジテレビ	21	8
		テレビ朝日	24	10
		テレビ東京	23	12
		MXテレビ	20	14
		放送大学	28	16
		テレビ埼玉	32	38

地域	エリアコード	放送局	デジタルch	アナログch
東京	8	tvk	18	42
		千葉テレビ	30	46
神奈川	9	NHK総合	27	1
		NHK教育	26	3
		日本テレビ	25	4
		TBS	22	6
		フジテレビ	21	8
		テレビ朝日	24	10
		テレビ東京	23	12
		MXテレビ	20	14
		放送大学	28	16
		tvk	18	42
		tvk	18	31
		日本テレビ	25	35
		TBS	22	37
		フジテレビ	21	39
		テレビ朝日	24	41
		テレビ東京	23	43
		NHK総合	19	33
		NHK教育	26	29
静岡	10	NHK教育静岡	13	2
		静岡朝日テレビ	18	33
		NHK総合静岡	20	9
		SBS	15	11
		テレビ静岡	17	35
		静岡第一テレビ	19	30
		NHK総合浜松	20	4
		SBS浜松	21	6
		NHK教育浜松	13	8
		静岡朝日テレビ浜松	24	28
		静岡第一テレビ浜松	25	30
		テレビ静岡浜松	23	34
		東海テレビ	21	1
		CBC	18	5
		テレビ愛知	23	25
岐阜	11	NHK総合名古屋	20	3
		NHK教育名古屋	13	9
		中京テレビ	19	35
岐阜	11	CBC	18	5
		東海テレビ	21	1
		メ～テレ	22	11
		テレビ愛知	23	25
		岐阜テレビ	30	37
		三重テレビ	27	33
		NHK総合岐阜	29	39
		岐阜テレビ	30	37
愛知	12	NHK総合名古屋	20	3
		NHK教育名古屋	13	9
		中京テレビ	19	35
		CBC	18	5
		東海テレビ	21	1
		メ～テレ	22	11
		テレビ愛知	23	25
		岐阜テレビ	30	37
		三重テレビ	27	33
三重	13	NHK総合名古屋	20	3
		NHK教育名古屋	13	9
		中京テレビ	19	35
		CBC	18	5
		東海テレビ	21	1
		メ～テレ	22	11
		テレビ愛知	23	25
		NHK総合三重	28	31
		三重テレビ	27	33
和歌山	14	NHK総合大阪	24	2
		NHK教育大阪	13	12
		読売テレビ	14	10
		毎日放送	16	4
		関西テレビ	17	8
		ABC	15	6
		テレビ和歌山	20	30
		NHK総合和歌山	23	32
		毎日放送	16	42
		ABC	15	44
		関西テレビ	17	46
		読売テレビ	14	48

地域	エリアコード	放送局	デジタルch	アナログch
和歌山	14	NHK教育和歌山	13	25
富山	15	北日本放送	28	1
		NHK総合富山	27	3
		チューリップ	22	32
		NHK教育富山	24	10
		富山テレビ	18	34
滋賀	16	NHK総合大阪	24	2
		NHK教育大阪	13	12
		読売テレビ	14	10
		毎日放送	16	4
		関西テレビ	17	8
		ABC	15	6
		NHK総合大津	26	28
		びわ湖テレビ	20	30
		読売テレビ	14	42
		NHK教育大津	26	46
		毎日放送	16	36
		ABC	15	38
		京都テレビ	23	34
		関西テレビ	17	40
京都	17	NHK総合大阪	24	2
		NHK教育大阪	13	12
		読売テレビ	14	10
		毎日放送	16	4
		関西テレビ	17	8
		ABC	15	6
		テレビ大阪	18	19
		京都テレビ	23	34
		サンテレビ	26	36
		NHK総合京都	25	32
奈良	18	NHK総合大阪	24	2
		NHK教育大阪	13	12
		読売テレビ	14	10
		毎日放送	16	4
		関西テレビ	17	8
		ABC	15	6
		奈良テレビ	29	55
		京都テレビ	23	34

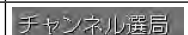
地域	エリアコード	放送局	デジタルch	アナログch
奈良	18	テレビ大阪	18	19
		サンテレビ	26	36
		NHK総合奈良	31	51
大阪	19	NHK総合大阪	24	2
		NHK教育大阪	13	12
		読売テレビ	14	10
		毎日放送	16	4
		関西テレビ	17	8
		ABC	15	6
		テレビ大阪	18	19
		NHK総合兵庫	22	28
		サンテレビ	26	36
		京都テレビ	23	34
兵庫	20	NHK総合大阪	24	2
		NHK教育大阪	13	12
		読売テレビ	14	10
		毎日放送	16	4
		関西テレビ	17	8
		ABC	15	6
		テレビ大阪	18	19
		NHK総合兵庫	22	28
		サンテレビ	26	36
		京都テレビ	23	34
		毎日放送	16	31
		ABC	15	41
		関西テレビ	17	43
		読売テレビ	14	47
		NHK教育兵庫	13	45

アイコン一覧

本機の画面上に表示される主なアイコンの内容について説明します。

チャンネル情報画面

●デジタル放送受信時

名　称	アイコン	状　況
ハイブリッド情報		ハイブリッド機能ON
メール着信情報		放送メールの着信有り
受信レベル情報		0（最小）
		1
		2
		3（最大）
チャンネル選局		チャンネル選局モード
音声設定情報		主
		副
2ヶ国語		2ヶ国語放送
ステレオ音声情報		ステレオ放送
		モノラル放送

●アナログ放送受信時

名　称	アイコン	状　況
ハイブリッド情報		ハイブリッド機能ON
音声設定情報		主
		副
2ヶ国語		2ヶ国語放送
ステレオ音声情報		ステレオ放送
		モノラル放送

NEXT

番組内容画面

名　称	アイコン	状　況
アナログコピー情報	アナログ ×出力	アナログコピーガードなし
	アナログ ×COPY	アナログコピーガードあり
	アナログ 1COPY	一回のみアナログ録画可能な番組
デジタルコピー情報	デジタル ×出力	デジタルコピーガードなし
	デジタル ×COPY	デジタルコピーガードあり
	デジタル 1COPY	一回のみデジタル録画可能な番組
解像度情報	4:3 525i	画面の横縦比：4:3 走査線数：525 走査方式：インターレース
	4:3 525p	画面の横縦比：4:3 走査線数：525 走査方式：プログレッシブ
	4:3 750p	画面の横縦比：4:3 走査線数：750 走査方式：プログレッシブ
	4:3 1125i	画面の横縦比：4:3 走査線数：1125 走査方式：インターレース
	16:9 525i	画面の横縦比：16:9 走査線数：525 走査方式：インターレース
	16:9 525p	画面の横縦比：16:9 走査線数：525 走査方式：プログレッシブ
	16:9 750p	画面の横縦比：16:9 走査線数：750 走査方式：プログレッシブ
	16:9 1125i	画面の横縦比：16:9 走査線数：1125 走査方式：インターレース
ステレオ音声情報	ステレオ	ステレオ放送
	モノラル	モノラル放送

お手入れ

本機やTVアンテナのお手入れについて説明します。

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

※ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

TVアンテナのお手入れ

●フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。

●一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

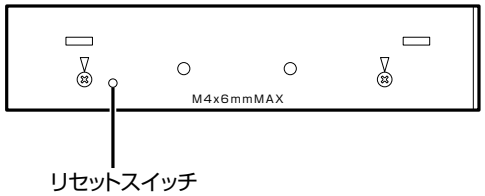
故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

症　状	原　因	処　理
電源が入らない（動かない）	モードスイッチが間違っている。	モードスイッチを正しく切り替えてください。**（取付説明書参照）**
	テレビの電源がOFFになっている。	**「テレビをONにする」（→P.34）**を参照して、テレビの電源をONにしてください。
映像が映らない	ソースが本機側に切り替わっていない。	**「スレーブモードの場合」（→P.34）**、**「スタンドアローンモードの場合」（→P.35）**を参照して、ソースを本機側に切り替えてください。
リモコンで操作できない	リモコンをリモコン受光部に向けて操作していない。	**「リモコンの使いかた」（→P.23）**を参照して、受光部に向けてリモコンを操作してください。
	リモコンの電池が切れている。	**「リモコンの電池を交換する」（→P.22）**を参照して、電池を交換してください。
地上デジタル放送が視聴できない	B-CASカードを入れていない（カードを入れる向きが違っている）。	**「B-CASカードを入れる」（→P.26）**を参照して、B-CASカードを本機に入れてください。
	長期間B-CASカードを挿入したままになっている。	以下を行ってください。 ①カードを抜き、カード接点部（IC部）の掃除をしてください。 ②カードを抜き差しし、カードと接点部の掃除をしてください。
	地上アナログ放送を受信している。	**「地上デジタル放送とアナログ放送を切り替える」（→P.36）**を参照して、地上デジタル放送に切り替えてください。
ハイブリッド機能が動作しない	ハイブリッド機能がONになっていない。	**「ハイブリッド機能をON/OFFする」（→P.29）**を参照して、ハイブリッド機能をONにしてください。

リセットスイッチについて

本機を再起動するときに押します。
リセットスイッチは本体側面にあります。



エラーメッセージ一覧

■画面にこんなメッセージが出たら

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

⚠注意

• 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態では使用しないでください。

お願い

- 下記の処置を行う場合は、車を安全な場所に止めてから行ってください。
- 下記の処置を行ってもまた同様のメッセージが表示されるときには、お買い求めの販売店にご相談ください。

エラー表示	原　　因	処　　理
信号レベルが、低下しています	一時的に受信レベルが低下している。 アンテナコネクタの接触不良。	受信状態の良いところに移動してください。 接続を確認してください。
このchは受信できません	一時的に受信できない。 アンテナコネクタの未接続。	受信状態の良いところに移動してください。 接続を確認してください。
このチャンネルは、ありません	選んだチャンネルがない。	他のチャンネルを選択してください。
ICカードを入れてください	ICカードが入っていない、または挿入方向が間違っている。	本機付属のB-CASカードを正しく挿入してください。また、カードの抜き差しは必ずエンジンを切った状態でゆっくりと行ってください。
契約情報がありません	視聴契約が必要な番組ですが、契約が正しく行われていません。	視聴契約手続きが必要です。

用語解説

B-CAS

B-CASとは、「株式会社　ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」の略称です。B-CASカードは、この会社によって管理されています。
B-CASカードは、本機に同梱されているICカードです。本機は地上デジタル専用受信機のため青色のカードが同梱されています。B-CASカードは、放送の種類によりますが、番組の著作権保護やデジタル放送の有料放送などのサービスなどで利用されています。

D端子（D1/D2）

D端子とは、テレビチューナーなどの映像機器とモニターテレビを接続するための端子規格で、映像を構成しているRGBの輝度信号と色差信号の接続を、1本のケーブルにまとめたことで高画質を実現した映像端子です。D端子の送受信情報は、色差信号の他にも、走査線・アスペクト比・インターレース／プログレッシブの情報を送ることができます。

端子名	画面（有効画素数）	走査線数
D1	標準放送（720×480i）	525i
D2	標準放送（720×480p）	525p

i：インターレース方式
p：プログレッシブ方式

525i（インターレース）

525i(インターレース)とは、デジタル標準放送の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を2回に分けて走査するインターレース（飛び越し走査）方式のことです。

525p（プログレッシブ）

525p(プログレッシブ)とは、デジタル標準放送の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に走査するプログレッシブ（順次走査）方式のことです。インターレース方式に比べチラツキがないのが特徴で、文字を表示するときなどに適しています。

EPG

放送用の電波を使って配信される電子番組ガイドのことです。デジタル放送では番組の映像や音声以外に番組の情報も同時に送られてきます。EPGに対応した機器を使えば、テレビの画面上に番組ガイドが表示され、その番組ガイドから見たい番組を選局することができます。本書では「番組表」と記述しています。

物理チャンネル

物理チャンネルとは、実際に受信する周波数を表すチャンネルの番号のことです。地上デジタル放送では、従来の地上アナログ放送とは異なり、実際に受信する周波数を送信しているチャンネル（物理チャンネル）と各局に割り当てられたチャンネル（リモコンに割り当てられたチャンネル）とが異なります。

例：東京の場合

●地上アナログ放送

放送局	送信チャンネル（物理チャンネル）	各局に割り当てられたチャンネル
NHK総合	1	
NHK教育	3	
日本テレビ	4	
TBS	6	
フジテレビジョン	8	
テレビ朝日	10	
テレビ東京	12	
東京MXテレビ	14	
放送大学	16	

●地上デジタル放送

放送局	送信チャンネル（物理チャンネル）	各局に割り当てられたチャンネル
NHK総合	27	1
NHK教育	26	2
日本テレビ	25	4
TBS	22	6
フジテレビジョン	21	8
テレビ朝日	24	5
テレビ東京	23	7
東京MXテレビ	20	9
放送大学	28	12

保証書とアフターサービス

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

■その他

アフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口、あるいはお客様相談室へご相談ください。

●本体

使用電源	DC12V
消費電力	1.7A
使用温度範囲	−5〜+60℃
保存温度範囲	−20〜+80℃
受信可能放送	地上デジタル放送／アナログ放送
受信チャンネル	デジタル：UHF13〜62ch
	アナログ：VHF1〜12ch、UHF13〜62ch
接続端子	地上デジタルTVアンテナ入力：−75dBm〜−20dBm、75Ω
	地上アナログTVアンテナ入力：35dBμV以下(最大感度)、75Ω
	コンポーネント映像出力端子：D2/D1映像
	（Y：1.0V [p-p]、75Ω
	Pb/Pr：0.7V [p-p]、75Ω）
	映像・音声出力端子：映像（1.0V [p-p]、75Ω）
	（映像出力端子は2系統）　音声（250mV [rms]（標準））
	映像・音声入力端子：映像（1.0V [p-p]、75Ω）
	音声(スタンドアローンモード:2.0V [rms]
	スレーブモード:1.2V [rms](最大))
	電源端子（4ピンコネクター）
	リモコン端子
	専用端子（14ピンコネクター）
外形寸法	231（W）×39（H）×181（D）mm（突起部を除く）
質量	1.66kg

●リモコン

送信方式	赤外線方式
電源	DC3V（CR2025×1）
外形寸法	52（W）×133（H）×11（D）mm（突起部を除く）
質量	約52g（電池含む）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ

アナログ放送設定…… 67

お

オートストア…… 53
オープニング画面（アナログ）…… 68
オープニング画面（デジタル）…… 59
音声切替…… 56

こ

個人情報初期化…… 65

し

自動選局（SEEKサーチ/アナログ放送）
…… 44
自動選局（SEEKサーチ/デジタル放送）
…… 43
自動選局（プリセットサーチ）…… 42
自動表示メッセージ…… 48
受信機情報…… 66
手動選局…… 45
詳細内容…… 49

す

スタンドアローンモード…… 17
スレーブモード…… 16

せ

接続モニタ（アナログ）…… 68
接続モニタ（デジタル）…… 59

ち

地上Aダイバー …… 68
地上Aモノラル …… 68
地上Dダイバー …… 59
地上デジタル放送設定…… 58
チャンネルサーチ選局…… 42
チャンネル情報…… 47
チャンネル番号選局…… 38
チャンネル番号入力選局…… 40
チャンネルボタン…… 55
チャンネルリスト選局…… 39

て

テレビ…… 34

の

ノイズコンシールメント…… 59

は

ハイブリッドエリア…… 61
ハイブリッド機能…… 28
ハイブリッド編集…… 62
番組表……51, 79
番組表(EPG)選局…… 46
バンド切替…… 37

ふ

物理チャンネル…… 80
プリセットメモリー …… 55

ほ

放送局の登録…… 53
放送の切り替え…… 36
放送メール…… 63

り

リセットスイッチ…… 77

B

B-CASカード ……25, 64, 79

D

D端子 …… 79
D端子出力（アナログ） …… 68
D端子出力（デジタル） …… 60

E

EPG ……51, 79

数字

2桁チャンネル番号 …… 41
3桁チャンネル番号 …… 40
525i …… 79
525p…… 79

Memo

Memo

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル：0120 -112 -140
（9：00～12：00・13：00～17：30/土・日・祝祭日を除く）

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

280-8395-00

Printed in Japan　2006/6　ZT-5000A-A